

関係機関各位

認知症疾患医療センター

センター長 直江 寿一郎

旭川市北星・旭星地域包括支援センター

センター長 片山 勝芳

旭川市豊岡・東旭川地域包括支援センター

センター長 青山 こずえ

「平成25年度 認知症スタッフ研修会」のお知らせ

時下、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

標記につきまして、地域で多くの高齢者とそのご家族を支援されている介護支援専門員の皆さんに認知症疾患医療センター、地域包括支援センター共催で研修会を開催することとなりましたので、ご案内申し上げます。

ご多忙とは存じますが、多くご参加をお待ちしております。

記

日時：平成25年7月11日（木） 14:00～16:00

会場：北海道上川総合振興局 3階 講堂

旭川市永山6条19丁目

研修内容：「認知症をみんなで考える」 情報交換

コメンテーター 認知症疾患医療センター長 直江 寿一郎

・「認知症疾患医療センターと地域連携について」

認知症疾患医療センター担当相談員 鉛口 佳奈子

(少人数でのグループ討議あり)

参加費：無料

\* 参加希望の方は6月25日（火）までに下記各欄に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。

問合せ・申込み先：豊岡・東旭川地域包括支援センター 電話 35-2275 FAX 35-2276

事業所名	職種	氏名

\*事業所名・職名・氏名を出席者名簿に記載させていただきます。

認知症疾患医療センター・地域包括支援センター

## 平成 25 年度 認知症スタッフ研修会

日時：平成 25 年 7 月 11 日（木）

14 時 00 分から 16 時 00 分まで

場所：北海道上川総合振興局 3 階 講堂

### プログラム

14 : 00 ~

開会あいさつ

認知症疾患医療センター センター長 直江 寿一郎

14 : 20 ~

「認知症疾患医療センターと地域連携について」

認知症疾患医療センター 担当相談員 鉛口 佳奈子

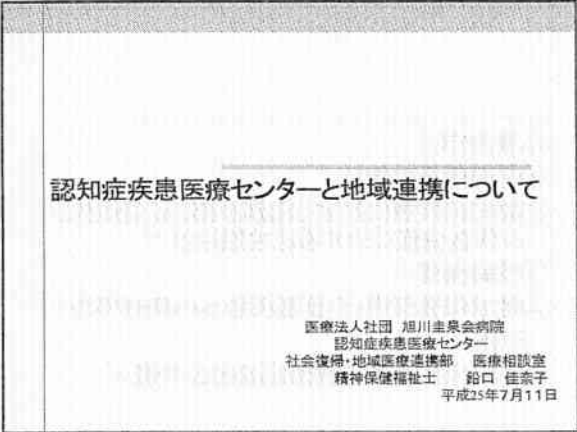
14 : 50 ~

「認知症についてみんなで考える」 情報交換

コメンテーター センター長 直江 寿一郎

16 : 00

閉会あいさつ



**内容**

1. 認知症疾患医療センターについて
- 2 認知症疾患医療センターについて (道北圏域)
- 3 地域連携について
- 4 課題
- 5 まとめ

**1. 認知症疾患医療センターについて**

**～目的～**

保健医療・介護機関等と連携を図りながら、認知症に関する鑑別診断、周辺症状と身体合併に対する急性期治療、専門医療相談等を実施するとともに、地域保健医療・介護関係者への研修等を行うことにより、地域における認知症の保健医療水準の向上を図る。

**～実施主体～**

・北海道

旭川圭泉会病院は平成24年4月1日に北海道より、認知症疾患医療センター(地域型)の指定を受けている

\*北海道では11病院が指定を受けている (平成24年4月1日現在)

道南	3ヶ所(函館渡辺病院・富田病院・亀田病院)
道央空知	1ヶ所(砂川市立病院)
道央胆振日高	5ヶ所(道央佐藤病院・恵愛病院・三愛病院 伊達赤十字病院・ミネルバ病院)
オホーツク	1ヶ所(北見赤十字病院)
道北	1ヶ所(旭川圭泉会病院)



① 専門医療相談等

認知症(疑いも含む)に関する相談

「時間や月日がわからなくなった…」  
「何回も同じことを聞く。」  
「物を盗られたと訴える。」  
「入浴や介護拒否がある。」  
「1人で暮らすのが心配」 などなど…

受診・入院希望… 医療機関の紹介

～当院の場合～

「物忘れ外来」「一般外来」等のご案内  
入院希望の際は、精神保健福祉士による  
事前相談  
(精神保健相談:有料)あり

～他医療機関～

直接病院、または、地域の保健所等から  
医療機関の情報収集、受診相談を行う

その他の相談…

介護保険について、在宅サービスについて  
など  
⇒地域包括支援センター、市町村、保健所  
などと連携

② 認知症疾患に関する鑑別診断、周辺症状と  
身体合併症に対する急性期治療

～当院の状況～

・物忘れ外来:毎週火曜日 予約制 1日4名  
認知症専門医が診察  
待機期間 約1ヶ月～2ヶ月

物忘れ外来

～受診予約～

・医療相談室(PSW)が対応  
・事前に基礎情報(氏名・年齢など)、家族状況  
症状の聞き取り  
・物忘れ外来の予約  
\*かかりつけ医がある場合は、  
受診日までに診療情報提供書(紹介状)を準備  
してもらう



～物忘れ外来当日～



本人・・・頭部CT・心理検査 など  
家族・・・本人の情報のききとり  
(フェイスシート作成)



・一般外来: 平日9:00～12:00

・入院治療(急性期治療):  
医師の診察後、入院治療が必要となった場合

入院治療を検討する方

「暴力・興奮が著しい。」  
「精神症状により拒食・拒薬がある」  
など



入院形態: 精神保健福祉法

・措置入院  
・医療保護入院  
・任意入院

+

救急病棟・・・・・・閉鎖病棟 保護室あり

認知症専門棟・・閉鎖病棟

その他・・・・・・精神科開放病棟・閉鎖病棟

～退院に向けて～

自宅?または施設?

本人の希望?? 家族の希望??



③ 情報発信

認知症医療に関する情報発信

地域の人達に「認知症」をもっと  
知ってもらいたい！！

→早期発見・早期治療へ！！

④ 地域保健医療・介護関係者への研修等  
の実施

かかりつけ医を始めとする保健医療関係者等への  
認知症に関する知識の向上を図る為の研修を実施

年1～2回程度

⑤ 認知症疾患医療連携協議会の開催

地域の認知症患者の保健医療水準の向上  
行政、保健医療、介護福祉等関係機関との  
連携促進

年1～2回開催予定

メンバーは……

「保健所」、「市町村」、

「地域包括支援センター」、

「社会福祉協議会」「医療関係機関」

「介護保険・福祉関係機関」、「認知症家族  
会」 etc..

広域の為、まずは、上川・富良野圏域の  
ネットワーク作りからスタート

3. 地域連携について

4. 課題

「認知症」が疑われても、本人が病院受診に納得してくれない為、医療につながらない・・・

⇒相談から受診まで、1年以上かかるケースも・・・



単身生活、家族関係が希薄で本人の症状変化になかなか気づかない・・・

⇒周辺症状がひどくなってから気づく



「認知症医療の拠点病院の不足」  
「入院の長期化」  
「権利擁護」  
「若年性認知症への対応」

⇒増加する認知症患者が地域で安心して生活するには、まだまだ課題がたくさん！！

## 5. まとめ

認知症の人ができる限り住み慣れた自宅・地域で暮らし続け、また、認知症の人やその家族が安心して生活できるように！！



ご清聴ありがとうございました。





# こんな症状に気づいたら相談を

日常の暮らしの中で、認知症ではないかと思われる言動や行動を、「家族の会」の会員の経験からまとめたものです。

医学的な診断基準ではありませんが、暮らしの中での目安として参考にしてください。

## 家族がつくった「認知症」早期発見のめやす

### もの忘れがひどい

1. 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
2. 同じことを何度も言う・問う・する
3. しまい忘れ置き忘れが増え、いつも探し物をしている
4. 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う



### 判断・理解力が衰える

5. 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
6. 新しいことが覚えられない
7. 話のつじつまが合わない
8. テレビ番組の内容が理解できなくなった



### 時間・場所がわからない

9. 約束の日時や場所を間違えるようになった
10. 慣れた道でも迷うことがある

### 人柄が変わる

11. 些細なことで怒りっぽくなった
12. 周りへの気づかいがなくなり頑固になった
13. 自分の失敗を人のせいにする
14. 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた

### 不安感が強い

15. ひとりになると怖がったり寂しがったりする
16. 外出時、持ち物を何度も確かめる
17. 「頭が変になった」と本人が訴える



### 意欲がなくなる

18. 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
19. 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
20. ふさぎ込んで何をするのも億劫がり嫌がる

グループワーク 14:50～ 15:35

1、「認知症の症状が疑われる利用者に対して、受診につなげようと判断するのは、どのような症状が出た時？」

MEMO

2、「受診を促しても拒否の強い方への対応（特に成功事例）」

MEMO